

フランスの事業者へ瀬戸内の魅力を発信！

9月20日～23日の4日間、フランス最大級の事業者向け観光展(IFTM Top Resa 2016)に瀬戸内ブースを出展し、現地の旅行会社、メディア等に瀬戸内の情報を発信しました！23日には、会場内で瀬戸内の魅力や周遊情報などについてプレゼンテーションも行いました。

フランスからの訪日旅行者は過去最高を記録した昨年をさらに上回る勢いで推移していますが、ブースでの現地旅行社との商談においても「新規に訪日旅行を取り扱いたいので、情報が欲しい。」「ランドオペレーターを紹介して欲しい」といったお問い合わせを多数いただきました。また、直島に代表される現代アートについての問い合わせも目立ち、文化都市フランスにおけるアートへの関心の高さが伺えました。

今後も、瀬戸内の観光資源や、魅力的なコンテンツなどの情報を継続的に発信し、フランスからの需要を取り込んで参ります。(海外プロモーション 村岡、石井、森原)

2016年9月20日～23日



森原は浴衣で参加！現地の方々からもとても好評でした！



▼プレゼンテーションの様子

古民家活用ビジネスを支援 ちいおりアライアンスと業務提携

せとうちDMO(瀬戸内ブランドコーポレーション)は、古民家活用ビジネスのリーディングカンパニーである株式会社ちいおりアライアンスと業務提携しました。

同時に、株式会社瀬戸内ブランドコーポレーションは、瀬戸内地域の新たな観光需要の受け皿として古民家を活用した事業を推進するため、ちいおりアライアンスへ出資を行いました。

このことを契機に今後、瀬戸内地域の観光関連事業者に対し、古民家を活用したビジネスの事業化支援、経営支援に取り組んでいきます。



写真出所：Chiori Alliance & Trust HPより
2016年10月20日

VJトラベルマート（海外AGTとの大商談会）に初参加！

28カ国から357社の旅行会社と、9カ国12社のメディア、国内から450の企業・団体が集まって商談を行う「ビジット・ジャパン・トラベル&MICEマート2016」に、機構が初参加しました。初参加ということで興味をもっていただいたのか、事前アポイントを必要とする23の商談枠は欧米系の旅行会社を中心に全て埋まり、自由商談枠も利用して合計30社以上の旅行会社およびメディアと商談しました！

今後の戦略を策定するのに重要な情報を収集することができ、本格的な商談に進めそうな事業者もいました。多くの参加事業者がサイクリングに興味を示したほか、ラグジュアリークルーズに期待を寄せる事業者も数多くありました。また、ヨーロッパの旅行会社を中心に、「直島」が世界遺産の宮島と同等に認知されていることから、アートが旅の重要な目的とされていることを再認識しました。

同時に参加していた四国ツーリズム創造機構様、岡山県様尾道観光協会様方とも連携し、単独ではアポイントを取れなかった事業者にも、相互に同行して補完する協力体制で商談に臨み、より多くの事業者に瀬戸内をPRすることができました。今回の商談を活かして、瀬戸内への誘客に一層励んで参ります！（海外プロモーション 相良、リチャード）

2016年9月21日～9月23日



▲ブースでの商談の様子

瀬戸内Finder 人気記事TOP 5



地元ライターによる
瀬戸内情報発信中！
<http://setouchifinder.com>

#1



山口県の超絶景
マトメ8選！

山口県

#2



栗林公園を早朝に
訪れるべき5つの理由

香川県

#3



観光モノレールで
世界一の森林浴を！

徳島県

#4



瀬戸内の
紅葉スポット8選

瀬戸内各地

#5



平安絵巻の
世界を体感する宿

徳島県



メディア掲載実績

- せとうちDMO関連
2016年9月27日 [SankeiBiz](#)
2016年10月6日 日本経済新聞
2016年10月20日 山陽新聞、四国新聞
- せとうちビジネス交流会
2016年10月13日 [時事ドットコム](#)、[産経ニュース](#)、[YOMIURI ONLINE](#)
2016年10月14日 [WorkMaster](#)
2016年10月20日 広島経済レポート
他多数
- ちいおりアライアンス案件
2016年10月21日 日本経済新聞、徳島新聞、[M&A Times](#)
2016年10月25日 四国新聞
- 2016年10月3日 [wisdom](#)
- 2016年10月4日 [IT風土記](#)
- 月刊レジャー産業資料10月号
- 地銀が連携してバックアップ
「せとうちDMO」が前進
2016年10月12日 [nezas](#)
2016年10月19日 [exciteニュース](#)、[zuonline](#)

せとうちDMOテーマ別部会開催中！

テーマ別部会とは、瀬戸内らしさを生かした6つのテーマ(クルーズ、サイクリング、アート、食、宿、地域産品)を設け、広域のマーケティングやプロダクト開発等が行えるプラットフォームです。

いかに観光客を増やすかを基軸に、各テーマに関係する事業者、自治体等が新規事業、プロダクト開発や成長戦略等を実行するうえで、必要なサポートを行います。

宿

10月4日に「宿部会」を広島市内で開催しました。今回は、各県1事業者様にお越しいただき、せとうちDMOの紹介や「せとうち観光活性化ファンド」の説明、瀬戸内の宿の現状報告を行い、出席者全員でディスカッションを行いました。

ディスカッションでは事業者様より「まずは安心・安全な宿の推進を進めることが重要。そのための選定基準が必要」といったご意見や、行政が地域のPRに力を入れた結果、地域全体に効果が浸透し宿泊者が増えたという実体験のご紹介などをいただきました。また、宿業界の課題などについて話されました。

2020年における瀬戸内の外国人延泊宿泊者数600万人泊(予定)を目指し、より多くの外国人の方へ瀬戸内の宿の魅力を訴求できるよう、事業者様と連携して施策を進めてまいります。

(宿担当 竹内、三好、館、松村)

2016年10月4日

クルーズ

10月13日に「クルーズ部会」を9社11名の事業者様と7名の運輸局・旅客船協会・行政・旅行会社等からのオブザーバー参加により開催しました。

“せとうちの魅力満喫できるクルーズ事業の普及のために”というテーマに沿って、観光クルーズ事業の活性化・利用向上に向けた課題と、その解決策について議論していくこととなります。

部会の主旨説明やファンド活用の提案に続けて、(一社)日本海洋観光推進機構 山田理事様よりせとうちの海洋観光とクルーズ事業の未来に向けた講演をいただきました。

また、DMOクルーズ担当から、せとうちの観光クルーズの現状と目指すべき姿を提示し、その後全員でディスカッションを行いました。

出席者からはDMOへの期待の声と共に今後のクルーズ部会の役割について多くのご要望も頂きました。

会議で出た課題の解決と、せとうちの観光クルーズの活性化に向けて次回以降の部会において事業者の皆様と議論し、取り組んで参ります。(クルーズ担当 岡野、空山、竹内、秋山)



2016年10月13日

アート



10月17日、広島県竹原市にて「アート部会」を開催しました。

アートとは、美術館・博物館などの施設を始め、文化財・祭・芸能・産業遺産・アートイベントなど幅広く定義しています。瀬戸内には、魅力的なアート資産が数多くありますが、プロモーション活動等が限定的で、一部の施設やエリアしか観光客が誘致できていないという課題があります。

「瀬戸内アートの認知を上げ、“アートツーリズム”の定着を図る」ことの実現に向け、企業・自治体等が連携して活動できる関係や体制を作ることを今年度のゴールにしています。今回は14社、4自治体が参加。

アートチームから瀬戸内のアートシーンの現状や課題の説明を行い、参加者の皆さまからは、地域・文化振興に関わる自社の取り組みや課題解決に向けて何ができるかなどについて発表いただきました。

今後は、今回の参加者の皆さまとどのような連携体制で何に取り組むのかなどを検討してまいります。

(アート担当 大森、竹内、森原、リチャード)

2016年10月17日

他テーマは次号お知らせ！

地域産品部会10/21(金)、食部会10/27(木)、サイクリング部会11/11(金)開催については、次号掲載予定です。

瀬戸内アートクルーズ2016

～呉、竹原、今治そして尾道へ瀬戸内の歴史を巡る～

瀬戸内の島々とアート資産を巡るフィールド視察を10月17日(月)～18日(火)の1泊2日で行いました。

2日間、高速艇はやしお号をチャーターし、呉から出発。訪ねた場所は、下蒲刈島、大崎下島(御手洗)、竹原、大三島、尾道。どこも歴史が色濃く残る場所ばかりです。船の上では、間近に見える橋や島、巨大なドッグなど普段なかなか見ることができない景色に感動しました。

町並み視察では昔は海外からの人が多く行き来して賑わっていたこと、産業が発展していたことなどガイドの方の案内を聞きながら、現在までの歴史などを学ぶことができました。

一方、海外の人には伝わりづらい表記や景観を損ねる看板なども見受けられました。「もっとこうしたら観光客が楽しめるのに」といった声も聞かれ、今後の観光地作りや環境整備に大いに生かせるフィールド視察になりました。

(アート担当 森原、リチャード、大森、竹内)

2016年10月17日～10月18日



▲下蒲刈島 (蘭島閣美術館)



アドリア海にも負けないこの多島美を、ぜひ世界に広めたいと思いました

▲船上デッキにて



▲大三島 (ところミュージアム)

お昼は「真鍋島弁当」▼

瀬戸内を感じるお料理はたくさん種類があって大満足です!



エリアマネジメントチーム 第2回拠点地区部会を開催



岡山会場の様子

エリアマネジメントチームは、第2回目となる拠点地区部会を10月6日に岡山県岡山市、10月7日に香川県高松市で開催しました。

部会では、各県・各拠点地区市町の課長様や担当者の方にお越しいただき、受入環境整備の方針について協議したほか、事業本部長 村橋の講演や瀬戸内ブランドコーポレーションの古民家構想について説明を行いました。

出席者からは「講演について、売り込み方など参考になった」「受入環境整備について、機構には広域性を活かした実態調査を期待する」といったご感想・ご意見が寄せられました。機構では今後も各県・市町と連携しつつ、受入環境整備を進めていきます。

(エリアマネジメント 北川、谷澤、小野、村岡、河井、伊藤、矢野、竹本、泉)

2016年10月6日～10月7日

新たに瀬戸内ブランド商品を46品登録しました

9月30日、(一社)せとうち観光推進機構は、瀬戸内ブランド商品として新たに46商品を登録しました。

累計で232社632商品32サービスが登録済となりました。

瀬戸内の資産をもとに開発され、「瀬戸内ブランド」のアイデンティティを体現する商品・サービスを登録していくことで、国内外から認められるブランドの確立を目指してまいります。

(地域産品担当 田中、増地)

2016年9月30日



今回登録した商品の一部



